

対象校No.

注4

学校コード F127310108250

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

注2

関西医療大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（博士後期課程）

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人関西医療学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教学部 教務課

職名・氏名 キョウムカチョウ ミツミヒロノリ
教務課長・満富 博徳

電話番号 072-453-8378（内線：2263）

（夜間） 072-453-8378（内線：2263）

e-mail kyoumu@kansai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

保健医療学研究科

<保健医療学専攻(D)>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人関西医療学園

(2) 大学名

関西医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒590-0482

大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タケダ ダイスケ) 武田 大輔 (平成26年4月)		
学長	(ヨシダ ソウヘイ) 吉田 宗平 (平成26年4月)	(イトウ ヒデフミ) 伊東 秀文 (令和7年4月)	学長の退任及び就任 令和7年4月1日 報告年度(7)
学部長			
研究科長	(スズキ トシアキ) 鈴木 俊明 (令和3年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してくだ

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または専攻の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合にそれらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学研究科 保健医療学専攻(D) 博士(保健医療学)	保健衛生学関係(リハビリ) 保健衛生学関係(看護学関係)リハビリ	3年	3人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	9人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	3 () []	人 () []	3 () []	人 () []				
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 []	() []	() []	() []	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳	1.33倍	-	
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 []	() []	() []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 []	() []	() []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 []	() []	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.33	-	1.33	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとすると、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	8 [-] (-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	人	人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	4 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
令和7年度	8 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 保健医療学専攻(D)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	保健医療研究方法特論Ⅰ	1前	2			4						
	保健医療研究方法特論Ⅱ	1前	2			4						
	小計(2科目)	-	4			4						
専門教育科目	保健医療科学基盤講義Ⅰ	1後		2		1	1					
	保健医療科学基盤講義Ⅱ	1後		2		1	1					
	保健医療科学基盤講義Ⅲ	1後		2			1					
	保健医療科学実践演習Ⅰ	1後		2		1	1					
	保健医療科学実践演習Ⅱ	1後		2		1	1					
	保健医療科学実践演習Ⅲ	1後		2			1					
	保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ	1後		2		1						
	保健医療技術開発学基盤講義Ⅲ	1後		2		2						
	保健医療技術開発学実践演習Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学実践演習Ⅱ	1後		2		1						
	保健医療技術開発学実践演習Ⅲ	1後		2		2						
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ	1後		2		1						
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ	1後		2		2						
小計(15科目)	-		30		6	3	1					
特別研究科目	特別研究Ⅰ	1通	4			10	3	1				
	特別研究Ⅱ	2通	4			10	3	1				
	特別研究Ⅲ	3通	4			10	3	1				
	小計(3科目)	-	12			10	3	1				
合計(20科目)	-	16	30		10	3	1					
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 本課程に3年以上を在籍し、共通教育科目に配当された2科目4単位(必修)、専門教育科目より2科目4単位以上(選択)、特別研究科目に配当された3科目12単位(必修)、合計20単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格すること。												
【履修方法】 「共通教育科目」:必修科目となる2科目いずれも履修する。 「専門教育科目」:①保健医療科学基盤講義Ⅰ、保健医療科学基盤講義Ⅱ、保健医療科学基盤講義Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療科学実践演習Ⅰ、保健医療科学実践演習Ⅱ、保健医療科学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計2科目4単位を履修する。②保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療技術開発学実践演習Ⅰ、保健医療技術開発学実践演習Ⅱ、保健医療技術開発学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計2科目4単位を履修する。③保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅲより1科目(2単位)、保健医療技術開発学実践演習Ⅰ、保健医療技術開発学実践演習Ⅱ、保健医療技術開発学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計3科目計6単位を履修する。 「特別研究科目」:特別研究Ⅰ(1年次)、特別研究Ⅱ(2年次)及び特別研究Ⅲ(3年次)をすべて履修する。												

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	保健医療研究方法特論Ⅰ	1前	2			4						
	保健医療研究方法特論Ⅱ	1前	2			4						
	小計(2科目)	-	4			4						
専門教育科目	保健医療科学基盤講義Ⅰ(未開講)	1後		2		2						
	保健医療科学基盤講義Ⅱ(未開講)	1後		2		1	1					
	保健医療科学基盤講義Ⅲ(未開講)	1後		2			1					
	保健医療科学実践演習Ⅰ(未開講)	1後		2		2						
	保健医療科学実践演習Ⅱ(未開講)	1後		2		1	1					
	保健医療科学実践演習Ⅲ(未開講)	1後		2			1					
	保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学基盤講義Ⅲ(未開講)	1後		2		2						
	保健医療技術開発学実践演習Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学実践演習Ⅱ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学実践演習Ⅲ(未開講)	1後		2		2						
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ(未開講)	1後		2		2						
小計(15科目)	-		30		8	1	1					
特別研究科目	特別研究Ⅰ	1通	4			12	1	1				
	特別研究Ⅱ	2通	4			12	1	1				
	特別研究Ⅲ(未開講)	3通	4			12	1	1				
	小計(3科目)	-	12			12	1	1				
合計(20科目)	-	16	30		12	1	1					
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 本課程に3年以上を在籍し、共通教育科目に配当された2科目4単位(必修)、専門教育科目より2科目4単位以上(選択)、特別研究科目に配当された3科目12単位(必修)、合計20単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格すること。												
【履修方法】 「共通教育科目」:必修科目となる2科目いずれも履修する。 「専門教育科目」:①保健医療科学基盤講義Ⅰ、保健医療科学基盤講義Ⅱ、保健医療科学基盤講義Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療科学実践演習Ⅰ、保健医療科学実践演習Ⅱ、保健医療科学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計2科目4単位を履修する。②保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療技術開発学実践演習Ⅰ、保健医療技術開発学実践演習Ⅱ、保健医療技術開発学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計2科目4単位を履修する。③保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ、保健医療技術開発学基盤講義Ⅲより1科目(2単位)、保健医療技術開発学実践演習Ⅰ、保健医療技術開発学実践演習Ⅱ、保健医療技術開発学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計3科目計6単位を履修する。 「特別研究科目」:特別研究Ⅰ(1年次)、特別研究Ⅱ(2年次)及び特別研究Ⅲ(3年次)をすべて履修する。												

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	保健医療研究方法特論Ⅰ	1前	2			4						
	保健医療研究方法特論Ⅱ	1前	2			4						
	小計(2科目)	-	4			4						
専門教育科目	保健医療科学基礎講義Ⅰ(未開講)	1後		2		2						
	保健医療科学基礎講義Ⅱ(未開講)	1後		2		1	1					
	保健医療科学基礎講義Ⅲ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療科学実践演習Ⅰ(未開講)	1後		2		2						
	保健医療科学実践演習Ⅱ(未開講)	1後		2		1	1					
	保健医療科学実践演習Ⅲ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学基礎講義Ⅱ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ	1後		2		2						
	保健医療技術開発学実践演習Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学実践演習Ⅱ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学実践演習Ⅲ	1後		2		2						
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ	1後		2		1		1				
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ(未開講)	1後		2		1						
	保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ	1後		2		2						
小計(15科目)	-		30		8	1	1					
特別研究科目	特別研究Ⅰ	1通	4			12	1	1				
	特別研究Ⅱ	2通	4			12	1	1				
	特別研究Ⅲ	3通	4			12	1	1				
	小計(3科目)	-	12			12	1	1				
合計(20科目)			-	16	30	12	1	1				

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

本課程に3年以上を在籍し、共通教育科目に配当された2科目4単位(必修)、専門教育科目より2科目4単位以上(選択)、特別研究科目に配当された3科目12単位(必修)、合計20単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】

「共通教育科目」:必修科目となる2科目いずれも履修する。

「専門教育科目」:①保健医療科学基礎講義Ⅰ、保健医療科学基礎講義Ⅱ、保健医療科学基礎講義Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療科学実践演習Ⅰ、保健医療科学実践演習Ⅱ、保健医療科学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計2科目4単位を履修する。②保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ、保健医療技術開発学基礎講義Ⅱ、保健医療技術開発学基礎講義Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療技術開発学実践演習Ⅰ、保健医療技術開発学実践演習Ⅱ、保健医療技術開発学実践演習Ⅲより1科目(2単位)の計2科目4単位を履修する。③保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ、保健医療技術開発学基礎講義Ⅱ、保健医療技術開発学基礎講義Ⅲより1科目(2単位)、保健医療技術開発学実践演習Ⅰ、保健医療技術開発学実践演習Ⅱ、保健医療技術開発学実践演習Ⅲより1科目(2単位)及び保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ、保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ、保健医療技術開発学臨床演習Ⅲより1科目(2単位)の計3科目計6単位を履修する。

「特別研究科目」:特別研究Ⅰ(1年次)、特別研究Ⅱ(2年次)及び特別研究Ⅲ(3年次)をすべて履修する。

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨床実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務実習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教員の昇任により「保健医療科学基盤講義Ⅰ」、「保健医療科学実践演習Ⅰ」、の専任教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教員の昇任により「保健医療科学基盤講義Ⅲ」、「保健医療科学実践演習Ⅲ」、の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の昇任により「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」、「特別研究Ⅲ」の専任教員の配置を「教授10・准教授3」から「教授12・准教授1」に変更。

【令和7年度】

- ・特になし。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	15 科目	0 科目	20 科目	5 科目 [0]	15 科目 [0]	0 科目 [0]	20 科目 [0]	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計(A)○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0}\%$$

数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	17,340.45㎡	—	㎡	—	㎡	17,340.45㎡		
	運 動 場 用 地	6,379.70㎡	—	㎡	—	㎡	6,379.70㎡		
	小 計	23,720.15㎡	—	㎡	—	㎡	23,720.15㎡		
	そ の 他	25,294.85㎡	—	㎡	—	㎡	25,294.85㎡		
	合 計	49,015.00㎡	—	㎡	—	㎡	49,015.00㎡		
(2) 校 舎	専 用	23,629.44㎡	—	㎡	—	㎡	23,629.44㎡		
	(23,629.44㎡)	(—	㎡)	(—	㎡)	(—	㎡)	(23,629.44㎡)	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	30室	4室	27室	1室 (補助職員 0 人)	1室 (補助職員 0 人)	情報処理学習施設と 語学学習施設は共用			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健医療学研究科 保健医療学専攻(D)			14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位でないため、大学全体の数 新規取得・破棄が発生したため 雑誌の廃刊による購読 終了が発生したため	
	保健医療学研究科 保健医療学専攻 (博士後期課程)	61,701 [11,895] (59,378 [11,691]) (59,952 [11,691]) (59,639 [11,826])	113 [33] (111 [30]) (114 [33]) (113 [33])	11 [11] (8 [8]) (11 [11])	1,614 (1,614)	()	()		
	計	61,701 [11,895] (59,378 [11,691]) (59,952 [11,691]) (59,639 [11,826])	113 [33] (111 [30]) (114 [33]) (113 [33])	11 [11] (8 [8]) (11 [11])	1614 (1,614)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館の面積は、ラー ニングcommons309.20 ㎡を含む。 図書館の閲覧座席数は ラーニングcommons 132席を含む。			
	1208.90㎡	298 席		63,333 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1426.03㎡	—				—			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費は、研究科 単位ではないため学部 と合同	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	626 655千円	626 655千円	図書購入費	千円	千円		千円
	共 同 研 究 費 等	23,000 22,372千円	23,000 22,372千円	設備購入費	2,581 2,083千円	660 418 478千円	660 418千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		900千円	600千円	600千円	千円	千円	千円		
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		手数料、資産運用収入等による							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		関西医療大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	250		1000	-	0.93	0.92	-	平成19	-	
はり灸・スポーツトレーナー学科	4	50		200	学士(鍼灸学)	0.89	0.88	-	平成15	大阪府泉南郡熊取町若菜2-11-1	
理学療法学科	4	60		240	学士(理学療法学)	1.06	-	-	平成19	同上	
作業療法学科	4	40		160	学士(作業療法学)	0.80	-	-	平成30	同上	
ヘルスプロモーション整備学科	4	40		160	学士(保健医療学)	0.63	-	-	平成20	同上	
臨床検査学科	4	60		240	学士(保健衛生学)	1.10	-	-	平成25	同上	
保健看護学部	4	90		360	-	1.13	-	-	平成21	-	
保健看護学科	4	90		360	学士(看護学)	1.13	-	-	平成21	大阪府泉南郡熊取町若菜2-11-1	
大学全体	4	340	0	1360	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【令和6年度】		【令和7年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専任	鈴木 俊明 (61) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	鈴木 俊明 (61) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	鈴木 俊明 (62) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	伊藤 俊治 (58) <令和6年4月> 博士(理学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療研究方法特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	伊藤 俊治 (58) <令和6年4月> 博士(理学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療研究方法特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	伊藤 俊治 (59) <令和6年4月> 博士(理学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療研究方法特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	西 理宏 (66) <令和6年4月> 医学博士 保健医療研究方法特論Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	西 理宏 (66) <令和6年4月> 医学博士 保健医療研究方法特論Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	西 理宏 (67) <令和6年4月> 医学博士 保健医療研究方法特論Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	大庭 太郎 (50) <令和6年4月> 博士(保健学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅱ 保健医療技術開発学実践演習Ⅱ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	大庭 太郎 (50) <令和6年4月> 博士(保健学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅱ 保健医療技術開発学実践演習Ⅱ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	大庭 太郎 (51) <令和6年4月> 博士(保健学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅱ 保健医療技術開発学実践演習Ⅱ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	坂口 俊二 (55) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅱ 保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	坂口 俊二 (55) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅱ 保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	坂口 俊二 (56) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅱ 保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	竹田 知広 (44) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	竹田 知広 (44) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	竹田 知広 (45) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	谷 万善子 (60) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	谷 万善子 (60) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	谷 万善子 (61) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅲ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	谷 幸士次 (52) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅱ 保健医療科学基礎講義Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	谷 幸士次 (52) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅱ 保健医療科学基礎講義Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	谷 幸士次 (53) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅱ 保健医療科学基礎講義Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	深澤 洋道 (56) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療研究方法特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	深澤 洋道 (56) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療研究方法特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	深澤 洋道 (57) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療研究方法特論Ⅰ 保健医療研究方法特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	吉田 直樹 (59) <令和6年4月> 博士(工学) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	吉田 直樹 (59) <令和6年4月> 博士(工学) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	吉田 直樹 (60) <令和6年4月> 博士(工学) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	大淵 博文 (41) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	大淵 博文 (41) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	大淵 博文 (42) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	木村 研一 (53) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅲ 保健医療科学実践演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	木村 研一 (53) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅲ 保健医療科学実践演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	木村 研一 (54) <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療科学基礎講義Ⅲ 保健医療科学実践演習Ⅲ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	文野 佳文 (42) <令和6年4月> 博士(健康科学) 保健医療科学基礎講義Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	文野 佳文 (42) <令和6年4月> 博士(健康科学) 保健医療科学基礎講義Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	文野 佳文 (43) <令和6年4月> 博士(健康科学) 保健医療科学基礎講義Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ
専任	福本 悠樹 (31) <令和6年4月> 博士(健康科学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	福本 悠樹 (31) <令和6年4月> 博士(健康科学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	福本 悠樹 (32) <令和6年4月> 博士(健康科学) 保健医療技術開発学基礎講義Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書作成の手引」の「教員名簿」を参照してください。
 ・認可時又は届出時には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼科教員を含む)を報告して記入してください。
 ・その上で、各年度については、**総務課又は総務課が変更となり且つ関係する大学の専任として変更した**。
 ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の現在年齢**を記入してください。
 ・専任(専門職大学等)は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・指定期間の改正により、新旧がチャームを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のチャーム(新チャーム)の授業科目名を記入するとともに

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

専任教員2名が准教授から教授に昇任（令和6年8月AC教員審査済み 適格）

【令和7年度】

特になし。

- (注)・変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
10	3	1	0	14	0	12	1	1	0	14	0
(12)	(1)	(1)	(0)	(14)	(0)						
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
13	9	1	0			13	11	1	0		
(13)	(11)	(1)	(0)			(13)	(11)	(1)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
12	1	1	0	14	0	12	1	1	0	14	0
[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
13	11	1	0			13	11	1	0		
[0]	[2]	[0]	[0]			[0]	[2]	[0]	[0]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要費済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{14} = 7.14\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1							該当なし	
2								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1								
2								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE!	科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{\quad} = \#DIV/0! \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1										
2										
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入して

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし	該当なし	該当なし

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学研究科 保健医療学専攻(D)>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学設置基準第25条の3および大学院設置基準第14条の3の規程に基づき、関西医療大学における教授内容・教授方法の改善、向上を図るため、関西医療大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)推進委員会を置く。</p> <p>・大学設置基準第11条第1項及び大学院設置基準第9条の3第1項の規定に基づき、教員及び事務職員の能力開発および資質向上を図ることを目的として、学長のもとに、SD(スタッフ・ディベロップメント)推進委員会を置く。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>審議事項を基に随時開催予定</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1. FD推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDの企画および実施に関すること ・FDについての情報収集に関すること ・FDに関する研修会等を企画・実施すること ・その他FDに関すること <p>2. SD推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDを推進する活動の企画と実施に関する事項 ・SDについての情報収集に関する事項 ・その他、SDの活動推進のために必要な事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度第1回SD研修会(令和7年4月3日実施) ・令和7年度新任教職員研修(令和7年4月5日から動画配信) ・FD講演会(令和7年8月実施予定) ・公開授業(実施予定) ・授業評価アンケート(実施予定) ・令和7年度第2回SD研修会(実施予定)

b 実施方法

・新任教員研修

新たに就任した教職員を対象に本学の沿革や概要等に関する研修を実施する。

・SD研修会（全体研修）

全教職員を対象に能力開発および資質向上を目的とした研修を実施する。

・FD講演会

専任教員もしくは外部講師を招き、年に2～3回程度FD活動に関する内容の講演会を実施。

・公開授業

学生による授業評価アンケートの集計結果が妥当であるかを確認する目的で公開授業を実施。

見学する授業を設定するのではなく、専任教員及び非常勤講師を問わず、全授業を対象とし、希望する授業を

参

観できる。参観後はアンケートに回答する。

・授業評価アンケート

学部学生に対して、科目担当教員すべて（非常勤教員含む）について前期、後期に、授業評価アンケートを実施。科目担当教員が、スマートフォン等を使用し授業評価アンケートの実施を指示する。非常勤講師担当科目についても非常勤講師が自身の授業において実施を指示する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①令和7年度第1回SD研修会（令和7年4月3日実施） 受講者135名

- ・理事長講話
- ・学長講話
- ・本学の組織体制と教学マネジメントについて 他

②令和7年度新任教職員研修（令和7年4月5日より動画配信） 受講者15名

- ・本学の沿革と概要
- ・自己点検・評価について
- ・教学運営体制について 他

③FD講演会（令和7年8月実施予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・初任者研修の内容を踏まえて、各教員が授業に活用している。
- ・FD講演会の内容を参考に、各教員が授業に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前・後期の中間時点で各1回ずつ実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

ポータルサイトで開示

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

関西医療大学では、平成15年4月の関西鍼灸大学開学時から関係法令の定めるところにより、本学の教育目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を公表することを定めた。

学長を委員長として関西医療大学自己点検・評価委員会を組織し、その下に教育・研究活動点検・評価部会、学生生活点検・評価部会、管理運営点検・評価部会等を置き、教育研究活動、学生生活、管理運営の資質向上と改善に取り組む体制としている。

各部会は、それぞれの担当事項について資料作成・データの収集ならびに分析を行って自己点検・評価の原案を作成し、委員会に報告する。委員会はその報告を受けて協議し、教育研究協議会へ報告して承認を受け教授会に報告する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・2030年度に日本高等教育評価機構の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。